

2.2 森林科学専攻

1. 専攻の概要

森林は地球環境に対して重要な役割を果たすとともに、石油・石炭のような化石資源と異なり、永続的に生産可能な資源を提供する。森林科学専攻では、「森林と人との共生」を目指し、森林の保全・維持、あるいは森林資源の持続的生産を図るとともに、森林の公益的効用である環境、防災の機能、公園、庭園、リクリエーション、エコツーリズムとしての利用、木材などの森林資源を有効に利用するための、物質科学に基づく科学・技術研究など、幅広く森林に関する研究及び教育を行っている。

森林科学専攻は、基幹の5講座12分野と協力の2講座7分野（フィールド科学教育研究センター及び生存圏研究所）から構成され、国際的かつ学際的な視野に立った研究・教育を行っている。

2. 学生の人数

本専攻には、修士課程1回生51名、修士2回生56名、博士課程57名の学生が在学している。

3. 科目を提供する専攻と分野名

- ・森林科学専攻：森林・人間関係学、熱帯林環境学、森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、山地保全学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、複合材料化学、生物材料化学
- ・フィールド科学教育研究センター：森林情報学、森林育成学
- ・生存圏研究所：生物機能材料学、循環材料創成学、木質構造機能学、居住圏環境共生学、バイマス形態情報学

4. 平成21年度（2009年度）の経過

4月7日に農学部総合館にて1回生にガイダンスを行い、カリキュラムの説明および修士課程・博士課程の学究目的と目標などについて説明した。また、5月16日には上賀茂試験地にて試験地の見学と歓迎会を実施した。さらに、4月11日には1回生歓迎会、4月9日、5月13日、9月30日には学部生向けオープンラボラトリーを開催し、各研究室（分野）のポスター・面接形式による紹介を行った。